



とやまで働こう！

UIJターン就職WEB交流会

圏商業労政課 ☎443-2073
問プライムビジネススタッフ(株)
☎442-0306

県外に住む学生やUIJターン就職を検討している方などを対象に、UIJターン就職で市内の企業に勤務する若手社員とのWEB交流会を開催します。市内で働く魅力やUIJターン就職活動の体験談を聞く絶好の機会です。県外に進学したお子さんなどに、ぜひ紹介してください。

日時 11月28日(土)・29日(日)14:00~17:00

参加費無料

対象

県外の大学などに通う学生
(令和4年3月卒業見込みの方)
転職やUIJターン就職に関心のある方

定員

各60人(応募多数の場合抽選)

申込方法

事前に、WEBサイト(<https://pbs-prime.co.jp/toyamajobfes/>)から申し込んでください。



▲WEBサイト

◆市内企業5社の若手社員が語る「テーマトーク」

- ・通勤時間はどれくらい？
- ・休日の過ごし方は？
- ・富山で働いて良かったことは？ など

◆市内企業の若手社員との交流会

若手社員と20分ずつ交流します。UIJターン就職のメリットやデメリット、疑問に思っていることなどを直接話すことができます。

※参加企業は開催日によって異なります。

※参加には、WEB会議アプリ「Zoom」が必要です。各自で準備をお願いします。



第1回富山えごま男子スパイスカレー部 参加者募集

圏環境政策課 ☎443-2053 FAX443-2122
☒ kankyousei-01@city.toyama.lg.jp

市が特産化を目指す「富山えごま」について、男性にもその魅力を発信するため「富山えごま男子スパイスカレー部」を発足し、さまざまな活動を展開していきます。

第1回は、スパイス料理研究家の指導の下、スパイスの調合からカレー作りを学べる教室を開催します。富山えごま伝道師の軟式globe・パークマンサーさん(タレント)がキャプテンとして参加し、教室を盛り上げます。

日時 / 11月28日(土)10:00~(受付9:30~)

場所 / 日本海ガスショールームPrego(黒崎)

対象 / 市内に在住か通勤・通学している18歳以上の男性

講師 / 石崎和生いしざきかずなりさん(スパイス料理研究家・アジャントスパイス代表)

定員 / 10人(応募多数の場合抽選し、当選者にのみ11月19日(木)までに通知)

費用 / 1,000円(カレーの昼食・土産付き)

申込方法 / 11月17日(火)(必着)までに、ハガキ、FAX、Eメール(件名「第1回富山えごま男子スパイスカレー部(氏名)」で、イベント名、郵便番号、住所、氏名、電話番号を、環境政策課(〒930-8510 新桜町7-38)へ。



◀石崎和生さん



◀パークマンサーさん

「エゴマ」はシソ科の植物です。α-リノレン酸などの健康成分が多く含まれており、近年とても注目されています。

ほっと エッセイ

富山市長 森 雅志

No.178 「いつも農作業を手伝ってきた？」

過日、コンビニに行こうと軽四で道路を走っていたところ、道路上に大量の梨が転がっていて二人の人が慌てて拾っているところに出くわした。この道路は僕が中学生の頃に農道として整備された、直線で走りやすい道であり、梨の最盛期には収穫した梨を運ぶトラックや軽トラと一般の乗用車などで混雑することが多い。いずれにしても、僕が状況に気づいたときには対向車線には既に5、6台の車が走行できずに停まっていた。僕は車を左側に停めて、転がった梨を拾おうと走って行った。周囲に迷惑を掛けてしまって申し訳ないといった風情で黙々と梨を拾っているのは近所の人であった。時々、僕の梨畑での作業にアドバイスをしてくれる80代の男性と彼の息子の妻の二人である。失敗したという気持ちで緊張しながら作業をしている二人の心を少しでも和らげようと、「僕も若い時に満杯の箱をひっくり返したことがありました…」と言いつつ作業を急いだ。気が付くと、若い男女3名が一緒になって作業をしてくれていた。車から満杯の梨の箱が落ちたのだから、転がっている梨はほとんどが割れて果汁がしみ出しているので手がべたついてしまうのに、嫌がらずに手伝ってくれる若者の姿にほっとさせられた。彼ら以外の車から新たに手伝おうとする人は現れなかったけれど、クラクションを鳴らす人はいなくて、静かに作業が終わるのを待っていてくれた。まだまだ助け合いの心が生きていることに触れて嬉しくなった。作業が進み1車線程度の幅で通行できるようになるとお互いに譲り合って交互に通行している様子もまた嬉しく感じた。みんな忍びざるの心を持っているということだ。

ちなみに、僕が若い頃に梨の箱をひっくり返したのは自宅の敷地内であったものの、両親が丹精込めて栽培してきた成果品を台無しにしてしまったという後ろめたさで小さくなっていた。そんな僕に対して父が「まあ、大なり小なりみんなやっтерことだ。」と慰めてくれた。忘れられない記憶である。

僕は、毎日忙しく農作業に励む両親のために一生懸命に手伝いをするという健気な少年ではなかった。それでもたまに手伝いに駆り出されたものだ。そんな記憶を辿ってみると、よくぞ無事だったなと思わされる失敗ばかりが浮かんでくる。思い出せる失敗話の幾つかを綴ってみたいと思う。

小学生の頃に茶畑で新茶葉をいっぱいに入れた畚(藁で編んだ籠、当時わが家ではドーハと言っていた)をリヤカーで運んでいてひっくり返してしまったこと。

中学生の時に耕運機でリヤカー状のものを牽引する装置を運転していて側溝に落ちる寸前という危険な瞬間があったこと。

乗用の防除機が無かった頃の農薬散布作業は固定した動力噴霧器から長いホースを伸ばして行っていたのだが、梨の樹に噴霧する父のやりやすいようにホースを引いたり押ししたりすべきなのに要領が悪くて長いホースを絡ませたうえに足を取られて思いっきりコンクリート柱に頭をぶつけてしまったこと。

脱穀機などを動かすための農業用三相交流電源をいじっていて感電したこと。

この歳になっても子どもの頃の失敗を忘れることはできない。その殆どは親にも友達にも言わず、そっと胸の奥に隠してきたものだ。不思議なことに最近になってそんな小さな秘密を告白したくなり、この稿を書いた次第。父が入院し母が施設でお世話になっている今、両親の若い頃からの苦勞をしのびつつ、残された梨畑を何とか維持していこうとする思いがそうさせたのかもしれない。ほとんど梨栽培の知識がないけれど門前の小僧の記憶に頼りながら、かつ近所の人に助けられながらなんとか今年の収穫を終えることができた。失敗談を披露することで心をリセットして秋の剪定作業から再挑戦だ。

さて、来年はどんな梨が取れることや？楽しみながら頑張りたいと思っている。

今月の 広報クイズ



〇に入る文字は？ 答「1月公開映画『大〇〇騒動』」

ハガキかEメールで、答と郵便番号、住所、氏名、年齢、連絡先(電話番号かメールアドレス)と「広報クイズ応募」と書いて、広報課(〒930-8510 新桜町7-38)へ(1人1通)。

広報とやまに対する意見・感想もお待ちしております。

締め切り▶11月13日(金)(必着) [E]kouhou-01@city.toyama.lg.jp

賞品▶500円分の図書カード(抽選で5人)

特別賞品▶映画「大〇〇騒動」鑑賞券(抽選でペア5組)

当選発表▶賞品の発送で代えさせていただきます。

前月の答え 水産物 前月の応募総数 277件(正解数275件)



今月の
放送日 11月29日(日)11:45~

放送局 KNB 北日本放送(1ch)

テーマ「未来共創拠点施設『Sketch Lab』オープン」

さまざまなプログラムを通じての新ビジネスの創出や地域課題解決の取り組みを紹介します。



市ホームページ(まちづくり・市政)⇒インフォメーション⇒とやま情報局